

明石港東外港地区再開発計画

平成 30 年 3 月

兵 庫 県

— 目 次 —

1. 委員会の概要	1
1.1 委員会の目的	1
1.2 委員名簿、開催状況	2
1.3 計画の構成	3
2. 明石港を取り巻く状況	4
2.1 明石市の概況	4
2.2 周辺の交通機能	6
2.3 周辺の主要施設	9
2.4 明石市における観光の動向	10
2.5 周辺の主な開発状況	12
2.6 水域の利用状況	14
3. 明石港の概要	15
3.1 明石港の概況	15
3.2 計画地の状況	18
3.3 計画地の検討経緯	19
4. 関連計画	20
4.1 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略	21
4.2 明石市第5次長期総合計画	22
4.3 明石市都市計画マスタープラン	23
4.4 明石市観光振興基本構想	25
4.5 明石市中心市街地活性化基本計画	26
4.6 明石港への要請・課題	30
5. 「明石らしさ」の整理	31
6. アイデア募集の結果概要	32
7. 土地利用の基本的な方向性と方針	36
7.1 将来像について	36
7.2 計画地で実現すべき「明石らしさ」	37
7.3 土地利用の基本的な方向性について	38
7.4 SWOT分析	39
7.5 土地利用の方針と施設例	40
7.6 土地利用ゾーニングの一例	47
8. 再開発にあたって留意すべき事項	48
9. 参考資料	49

1. 委員会の概要

1.1 委員会の目的

明石市の中心市街地では、明石駅南地区再開発事業など、活性化に向けた取り組みが着実に進展している。一方、中心市街地の南の拠点である明石港周辺については、過去からの産業利用によって市街地から分断され、活性化に関する計画が策定されていないため、素晴らしい景観などの有効資源の活用ができていない。そのため、中心市街地の南の拠点と位置付けられている明石港周辺のあり方や東外港地区に望まれる将来像を踏まえ、明石港東外港地区公共ふ頭及び展望公園（以下、計画地と言う）を対象に再開発計画をとりまとめる。



図-1.1.1 対象範囲



図-1.1.2 明石市東部航空写真

1.2 明石港東外港地区再開発計画検討委員会

(1) 委員名簿

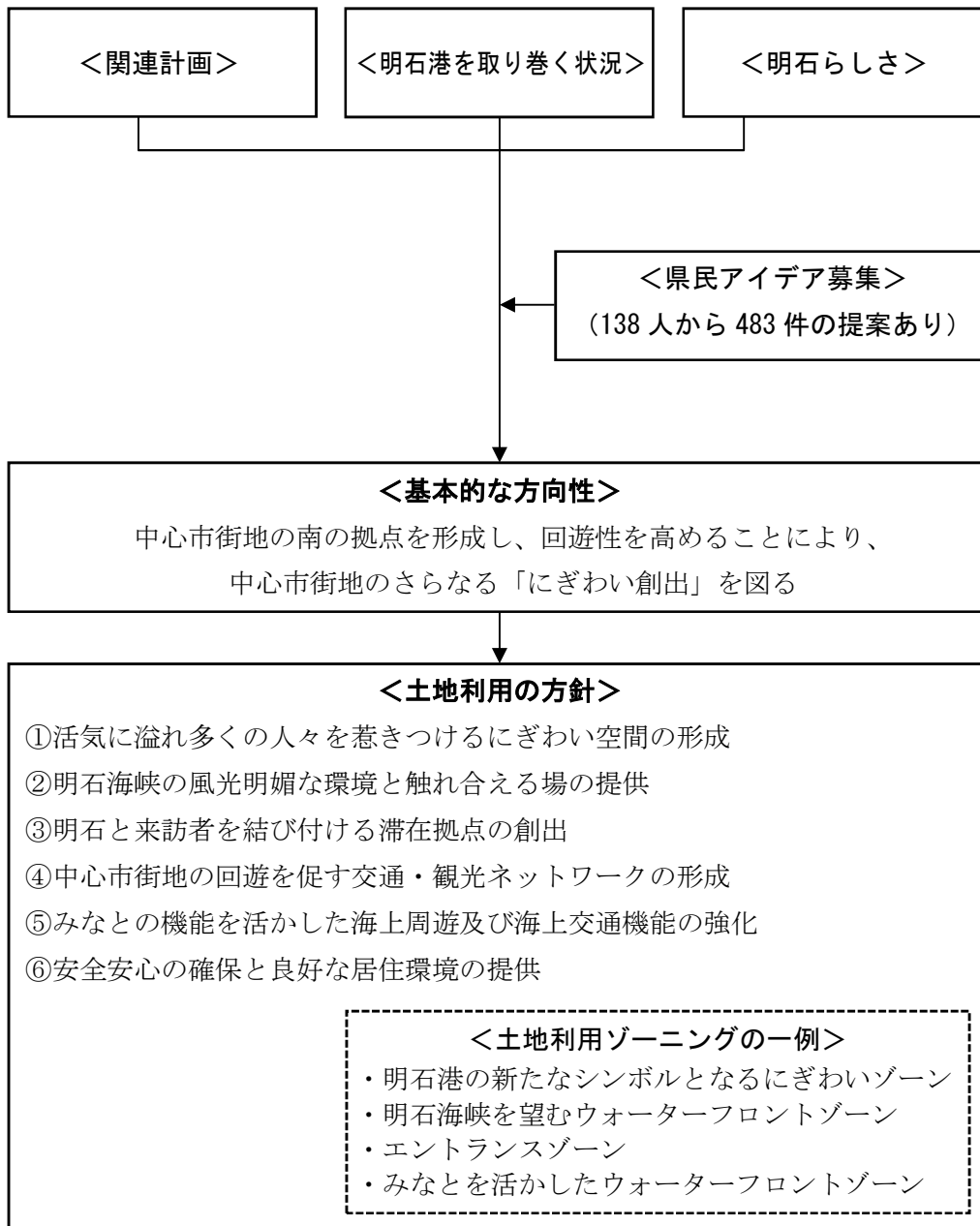
区分	所属等	氏名	備考
学識経験者	明石工業高等専門学校 名誉教授	◎大橋 健一	
	大阪大学大学院 教授	加賀 有津子	
	流通科学大学 教授	柏木 千春	
	兵庫大学 副学長	○田端 和彦	
地元代表	明石市連合まちづくり協議会 顧問	橋本 浩司	
	中崎まちづくりの会 会長	伊藤 一	
漁業関係者	明石市漁業組合連合会 会長	橋本 幹也	
商工会議所	明石商工会議所 副会頭	西海 正隆	
観光振興	(一社)明石観光協会 専務理事	檉原 一法	
国	近畿地方整備局港湾空港部計画企画官	酒井 貴司	
市	明石市政策局長	宮脇 俊夫	
	明石市理事 (技術担当)	福田 成男	
県	兵庫県県土整備部土木局港湾課長	雨宮 功	
	兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所長	岩崎 日出夫 (伊藤 裕文)	

◎：会長、○：会長代理、()は前任者

(2) 開催状況

回	開催時期	検討内容
第1回	平成28年10月4日	・明石港への要請・課題
第2回	平成29年1月17日	・「明石らしさ」の整理 ・土地利用の具体的な方向性と導入する機能
第3回	平成29年5月12日	・土地利用の考え方と導入機能
第4回	平成29年8月16日	・再開発計画(素案)
第5回	平成29年10月23日	・再開発計画とりまとめ

1.3 計画の構成



<再開発にあたって留意すべき事項>

基本的な方向性や土地利用方針の実現に向けて、
関係機関の取り組みや、公募条件の設定に関して特に留意・配慮すべき事項

2. 明石港を取り巻く状況

2.1 明石市の概況

(1) 明石市の人口・世帯数

明石市の人口は、平成8年以降、微増もしくはほぼ横ばいで推移してきている。一方、中心市街地は、平成9年以降増加傾向にあり、平成27年は平成12年と比較すると約2割の伸び率となっている。

また、20代から30代前半までの転入超過については、就職や結婚を機に、大都市への交通利便性の高い本市に住居を構える人が多いためと考えられる。(出典：明石市人口ビジョン、平成27年12月)

表-2.1.1 明石市人口の推移 (資料：明石市中心市街地活性化基本計画)

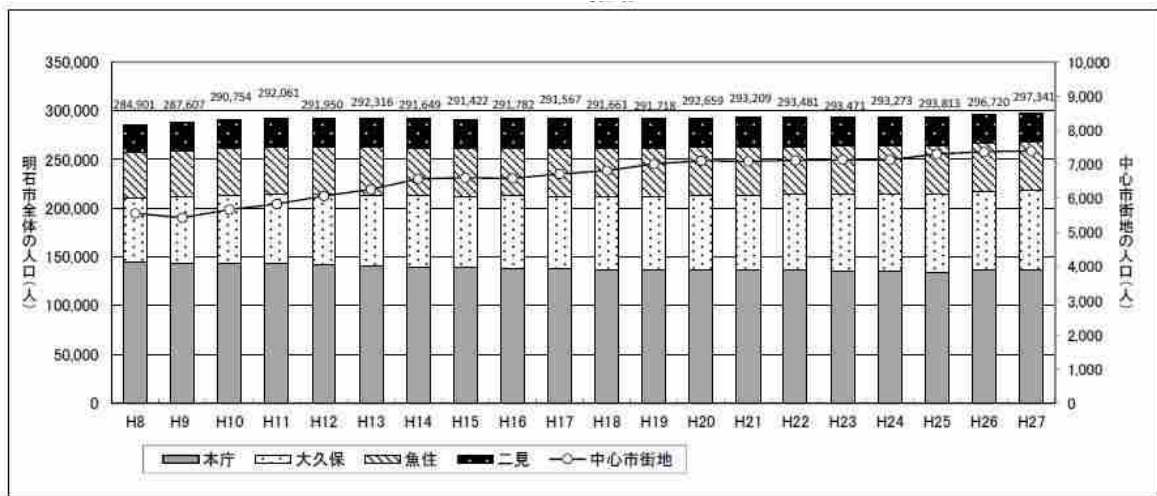
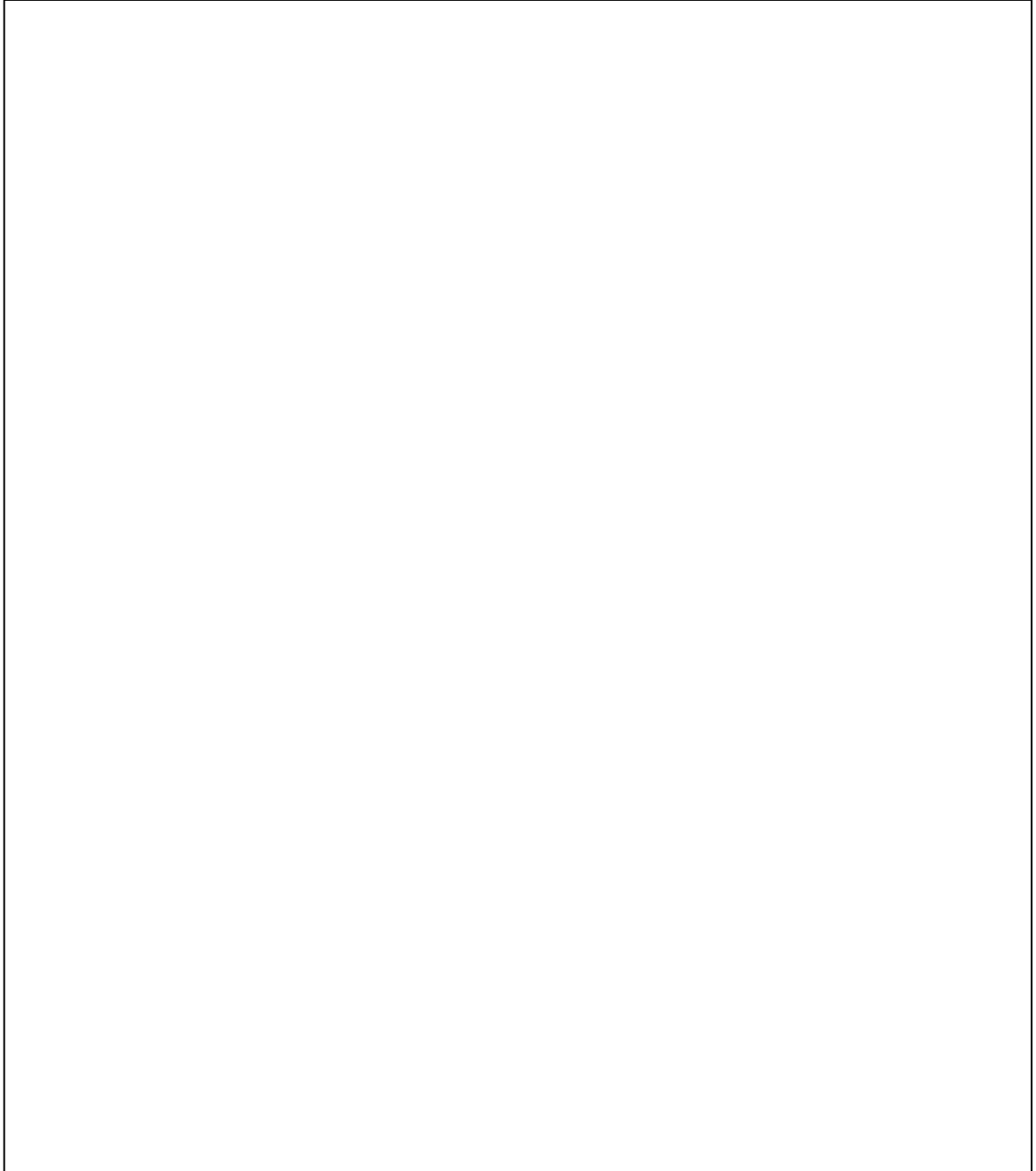


表-2.1.2 明石市の社会動態（資料：明石市人口ビジョン）



(2) 昼夜間人口

明石市の昼夜間人口比率は、上昇傾向にあるが、依然として他都市への流出者の方が多い。

表-2.1.3 昼間人口比率の推移

